

2013年度

# 事業報告

2013年 4月 1日から

2014年 3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

## 1. 事業活動

### (1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

#### ①2013年4月24日(水)

選考・審査委員会開催。2013年度奨学生として大学院生13名の採用を決定（継続採用4名を含む）。同研究助成13件の採用を決定。

※同年5月に新規奨学生を1名追加し、合計14名となった。

#### ②2013年4月26日(金)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

#### ③2013年 4月1日～2014年 3月31日

2013年度奨学生に対し、各12万円を月々支給。（但し、4・5月分は5月に支給。また、1名は12月まで支給。）。

2013年度研究助成 13件に対し各50万円を支給。さらに11月、1月2件に対し残りの50万円を支給。年間合計750万円（50万円：11件 100万円：2件）となった。

#### ④2014年1月10日(金)

2014年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（36校）宛発送。

### (2) 奨学生に対する奨学支援事業

#### ①2013年5月25日(土)

「2013年度奨学生採用式」を開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った。

（出席者21名）

#### ②2013年8月31日(土)～9月1日(日)（1泊2日）

奨学生、研究助成者、財団役員を対象に夏季研修旅行「長野県松本市内・美ヶ原高原・霧ヶ峰へのバスの旅」を実施。「松本市美術館」、「松本民芸館」、「旧開智学校」、「松本城」、「美ヶ原美術館」、「諏訪大社」等、長野県松本市の美術館や由緒ある施設を中心に、芸術と自然の調和を堪能し、長野県の芸術、歴史を知るよい機会となった。また、夕食時にはミニ演奏会も実施し、音楽にも触れる機会を得ることができた。

なお、移動の車中や見学先で行動をともにしたことや、宿泊先での食事会等で、奨学生は国、地域、研究分野を超え交流を深め、相互理解を促進できた。また、財団役員との交流を図るとともに、研究の相談や生活指導等も行った。

#### ③2013年9月30日(月)

奨学生の「エッセイ、小論文」の提出締切。

奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。

④2013年12月8日(日)

年末交流会を上野・精養軒で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた。(参加者55名)

⑤2014年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑥2014年3月17日(月)

2013年度奨学生「卒業報告会」並びに「卒業生お祝会」を神田学士会館で開催。卒業生からは、論文のサマリー発表を、進級者からはこの1年間の研究発表が行われ、互いの研究内容を知り、相互啓発、交流を図った。

(卒業生 博士8名(出席:2名)、修士6名(出席:4名))

⑦奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2013年6月12日(水)

「花柳昌三郎舞踊公演」鑑賞(於、鍊仙会能楽研修所)

2) 2013年7月21日(日)

「許可 二胡コンサート」鑑賞(於、HAKUJU HALL)

3) 2013年8月23日(金)

「田大成テノールリサイタル」鑑賞(於、北とぴあつつじホール)

4) 2013年12月14日(土)

「文楽(文楽鑑賞教室公演)」鑑賞(於、国立劇場小劇場)

5) 2014年2月8日(土)

「東邦音楽大学創立75周年記念特別オペラ “フィガロの結婚”」鑑賞  
(楊拡さん出演)(於、めぐろパーシモンホール)

## 2. 附属明細書について

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上